

第7次総合計画（令和9年度からの8年間）の策定について



質問者
武尾 哲治 議員



質 第6次総合計画の各種事業の進捗状況を踏まえた今後の事業展開は。

答 現在、施策動向調査を行い、客観的な指標で点検・評価中です。

今後2年間はチルドレンファーストの理念をもとに施策を推進します。

質 調査や評価の客観性を広げる取り組みは。

答 タウンミーティングの開催など、町民が評価・検証できる機会を提供します。

質 チルドレンファーストの理念の町民への周知は。

答 子どものみを優先する誤解を避け、全世代が幸せに暮らせる社会構築を目指す理念であることを丁寧に伝えます。

質 計画策定前に町民の意見を聞く機会は。

答 令和7年度に町内15カ所でのタウンミーティングを実施し、後日町民アンケートなどを行い民意を反映します。

質 他の意見収集手法は。

答 インターネットアンケート等を通じて、若年層とのつながりも拡大します。

質 今後8年間で駅周辺エリアはどう変わる。

答 駅前には土地が狭く区画整理等の手法は困難。高度利用を図る再開発が望ましい。

質 将来の「まちづくり」のイメージは。

答 歴史と文化を踏まえて駅を整備します。限られた時間ですが丁寧に説明し、多くの方の賛同を得ます。町民が「住みたい」「戻りたい」と思える町を目指します。

共に歩み成長し続ける8年間に

回答（町長）



タウンミーティング

松田町における福祉政策について



質問者
吉田 功 議員



質 社会福祉協議会の活動にどのような期待とどのような連携を考えているか。

答 多岐にわたる福祉事業の充実を期待するとともに、町と社会福祉協議会との情報共有や情報交換、協議などの連携をもち、住民が安心して過ごせるように、町と社会福祉協議会の両輪で福祉政策を推進したい。

質 社会福祉協議会の会費は、自治会が集金をしているので、人口減と会員減で毎年減少傾向にある。今後の活動資金の支援及び人的支援はどのように考えているか。

答 会費の減少は把握しているが、どのような支援の方法があるかは検討している。人員については現在においては充足していると考えている。

質 民生委員・児童委員の活動にどのような期待をしているか。またその待遇についてどのように考えているか。

答 民生委員・児童委員の活動にどのような期待をしているか。またその待遇についてどのように考えているか。

福祉活動におけるさらなる支援について、研究・検討する

回答（町長）



答 地域住民との密接な関係を築き、地域の特性や課題を理解した上で、

特に「社会的弱者」への適切な支援が求められ、地域の声を町に届ける役割を担っている委員の活動に期待している。待遇については、国と町とで支払われる活動費は、ひとり年間で約六万円ほどである。今後、委員の業務において、さまざまな課題が増えることが予想されるので、欠員地区の解消、活動しやすい環境づくりを行うためにも、国・県への活動費の増額を要望するとともに、多岐にわたる業務の効率化や見直しなど、町においても独自支援を研究する。



健康福祉センター